

平成25年2月19日
午前9時30分～
於：第3・4委員会室

産業廃棄物最終処分場対策特別委員会

次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

(1) 旧RD最終処分場にかかる経過について

(2) 旧RD最終処分場一次対策工事について

(3) その他

4. 閉 会

旧RD最終処分場にかかる経過について

年月日	市関係	県関係
24. 11. 15	産業廃棄物最終処分場対策特別委員会 (経過報告・旧RD最終処分場に係る特定支障除去等事業変更実施計画案について・その他(現場見学))	産業廃棄物最終処分場対策特別委員会 (旧RD最終処分場に係る特定支障除去等事業変更実施計画案について)
24. 11. 22	市議会全員協議会 (旧RD最終処分場に係る特定支障除去等事業変更実施計画案について・特定産業廃棄物に起因する支障の除去等事業に対する意見照会について・特定産業廃棄物に起因する支障の除去等事業に対する意見回答案について)	市議会全員協議会 (旧RD最終処分場に係る特定支障除去等事業変更実施計画案について)
24. 11. 26		滋賀県環境審議会廃棄物部会 (旧RD最終処分場に係る特定支障除去等変更実施計画案について)
24. 11. 27	「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等事業に対する意見について」県に回答	
24. 12. 6	債権者集会(京都地裁)	債権者集会(京都地裁) 7,190,000.- (次回は、来年南信)
	県と周辺自治会の話し合い (一次対策工事の進捗状況について・Dエリアにおける掘削完了の確認について・連絡協議会の考え方について・その他)	県と周辺自治会の話し合い (一次対策工事の進捗状況について・Dエリアにおける掘削完了の確認について・連絡協議会の考え方について・その他)
24. 12. 10		滋賀県環境審議会「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等事業に対する意見について」知事に回答
24. 12. 12		一次対策工事掘削現場見学会(D区画掘り止め確認および土壌分析)
25. 1. 19		一次対策工事掘削現場見学会(C区画掘り止め確認)
25. 1. 23	中浮気団地自治会との協議(今後の対応について)	中浮気団地自治会との協議(今後の対応について)
25. 1. 31	県と周辺自治会の話し合い (一次対策工事の進捗状況について・一次対策工事の今後の進め方について・その他)	県と周辺自治会の話し合い (一次対策工事の進捗状況について・一次対策工事の今後の進め方について・その他)
25. 2. 2		一次対策工事掘削現場見学会(A・B区画掘り止め確認)

旧RD最終処分場一次対策工事について

○一次対策工事の進捗状況について

◇位置を特定した地下水汚染の原因となる廃棄物を掘削除去するとともに浸透水揚水井戸を設置し、既存水処理施設を活用して地下水汚染を軽減。

・廃棄物土掘削 10,000 m³ ・浸透水揚水井戸設置 2箇所

◇特別管理産業廃棄物（揮発性有機化合物類）、医療系廃棄物、ドラム缶等およびその内容物が浸潤した廃棄物土は処理施設へ運搬し処分。

A区画：掘削完了 掘削期間 11月19日～1月17日

ドラム缶 70本 医療系廃棄物 ボーリング調査（5本）

B区画：掘削完了 掘削期間 12月17日～1月28日

ドラム缶 9本 大量の医療系廃棄物（医療系廃棄物が予定の深度よりも深い場所まで続いていたので無くなるまでさらに2m掘削）

ボーリング調査（1本）

C区画：掘削埋戻し完了 掘削期間 11月15日～11月30日

ガレキ等 全量場内仮置き

現場見学会にて「一部木くずが混入しているため無くなるまで掘り進むべき」との指摘があったため是正（1/26）

D区画：掘削埋戻し完了 掘削期間 11月15日～12月12日

全量場外搬出 EM探査の結果特に反応は無し

掘削後の土壌分析等の結果環境基準を超える有害物は検出されず

搬出処分量（平成25年2月5日現在）

特管物 488.57トン

医療系 494.09トン

ドラム缶等 196.04トン（ドラム缶79個）

伊賀市・堺市（20t台）

○一次対策工事の今後の進め方について

A区画：キャッピングシート敷設予定

東側焼却炉跡：コンクリート擁壁・床版・ピット取り壊し EM探査
キャッピングシート敷設

B区画：キャッピングシート敷設予定

D区画：1,4ジオキサンが環境基準超過している部分を追加掘削埋戻し

最終処分場特別対策事業 < 二次対策工事に着手 >

【予算額 399,452 千円】

【事業の目的】
 旧RD最終処分場に起因する生活環境保全上の支障またはその生じるおそれ（以下「支障等」という。）を除去し、RD最終処分場問題を解決する。

【支障等と対策工事】

【支障等】

- ①法面の一部急峻、未覆土による廃棄物飛散流出のおそれ
- ②地下水の汚染拡散のおそれ
- ③硫化水素ガスの悪臭による周辺的生活環境への支障のおそれ

↓

【対策工事（支障等の除去）】

年度	平成 24 年度	平成 25 年度～32 年度
区分	一次対策工事	二次対策工事
工事概要	<ul style="list-style-type: none"> ・有害物の掘削除去（東側焼却炉付近） ・浸透水の揚水処理（既存水処理施設を活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・有害物の掘削除去 ・地下水帯水層への浸透水漏出部分の遮水 ・浸透水の揚水処理（水処理施設新設） ・法面整形 ・覆土等
工事費	約 4 億円	約 7 0 億円

※ 工事費には水処理施設運転管理費・周辺地下水等モニタリング費等を含む。
 ※ 対策工事は産廃特措法に基づく国の財政支援を得て実施（費用の 90%が起債対象となり、その元利償還金の 50%について特別交付税措置される）。

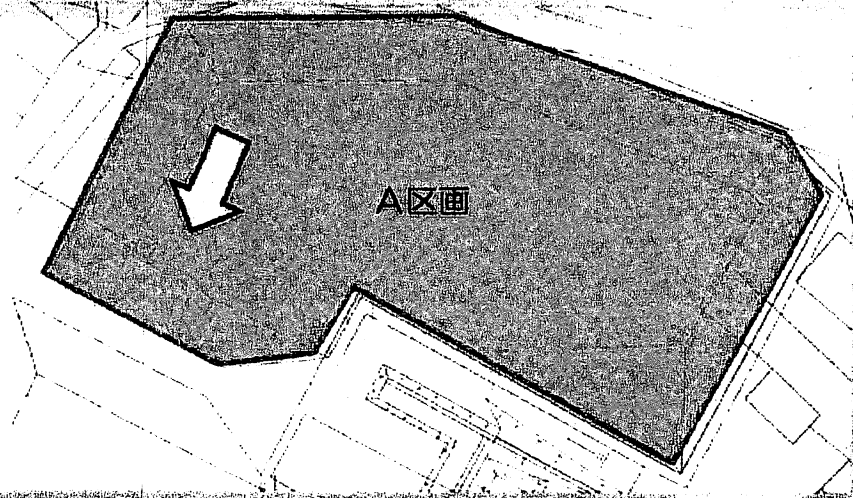
【平成 25 年度予算措置】

1. 最終処分場支障除去対策工経費	395,327 千円
（二次対策工事費、施設管理費、周辺環境影響調査費、その他事務費等）	
2. 事業者責任追及経費等	1,425 千円
3. 処分場管理費	2,700 千円
（合計）	（399,452 千円）

A区画の状況



車の一部



液体に浸ったドラム缶

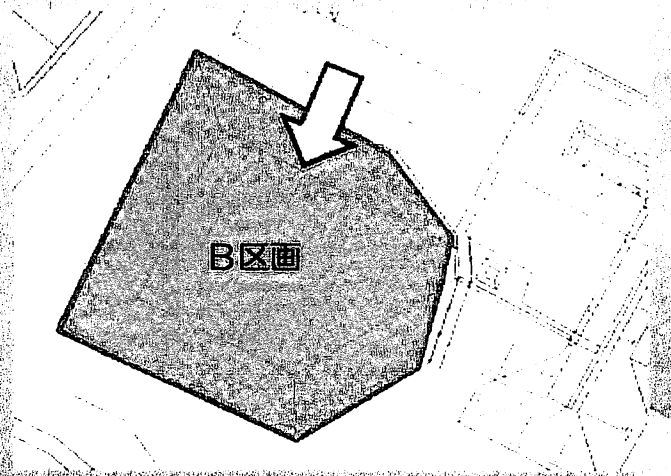


液体をバキューム処理

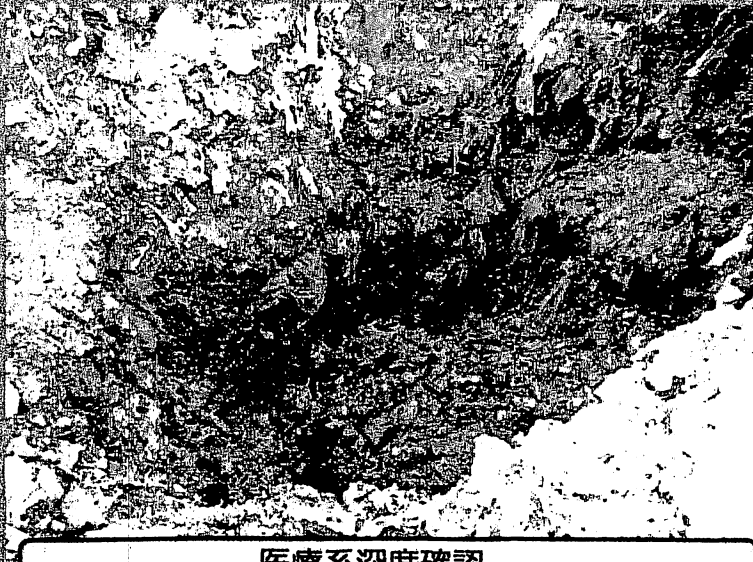
B区画の状況



医療系



医療系



医療系深度確認

C区画の状況



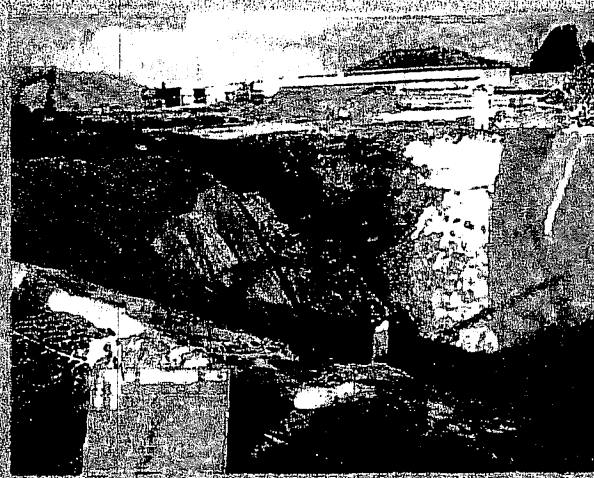
コーナー部追加掘削



掘削面確認



木くず混入範囲是正完了



埋め戻し開始

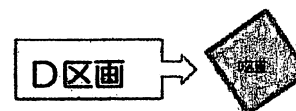
D区画の状況

平成24年12月12日 掘削完了後土壌分析

土壌分析の結果、環境基準を超えるものは検出されず。

→埋め戻し。

掘削物は全量場内仮置き。



掘削後分析資料採集



住民の皆さん立会の下分析作業

○1,4-ジオキサンの掘削と二次調査ボーリングについて

○今後の進め方について

A 区画

1/23 EM 探査 → 2/2 現場確認 → 二次調査ボーリング → キャッピングシート敷設
→ 完了(埋め戻しは二次対策工事)

B 区画

1/30 EM 探査 → 2/2 現場確認 → キャッピングシート敷設のため一部埋め戻し・整形
→ 二次調査ボーリング → キャッピングシート敷設 → 完了(埋め戻しは二次対策工事)

C 区画

12/4 EM 探査(高い磁化率なし) → 1/19 現場確認 → 一部追加掘削 → 全部埋め戻し
→ 完了

D 区画

12/12 現場確認(掘止確認・簡易溶出試験不検出)
→ ベンゼン(公定法)土壌環境基準超過なし → 埋め戻し
→ 1,4-ジオキサンの掘削・仮置き → 全部埋め戻し → 完了

東側焼却炉跡

コンクリート擁壁・床版・ピット取り壊し → EM 探査(2/中旬~下旬)
→ キャッピングシート敷設 → 完了

ケー-3 : ダイオキシン類
深度: 3.0m~6.0m 1,300pg-TEQ/g
(1,000 pg-TEQ/g)
ボーリング長 L=4m 1箇所

ケー-3 : ふっ素
深度: 9.0m~12.0m 0.81mg/L(0.80mg/L)
ボーリング長 L=10m 5箇所

ケー-5 : 1,4-ジオキサン
n4 : 一次対策で掘削除去(10m×10m×3.1m)
深度 2.1m 0.12mg/L(0.05mg/L)
n1 : 二次対策で掘削除去
深度 5.8m 0.057mg/L(0.05mg/L)

- 凡 例
- : 新規ボーリング調査地点
 - : 既存ボーリング調査地点
 - : 一次対策掘削範囲
 - : 有害物掘削除去範囲

D 区画埋め戻し・1,4-ジオキサン掘削イメージ

